

桑名市議会議長

南澤 幸美 様

第1班 班長

伊藤 研司 印

### 議会報告会実施結果報告書

開催日時	平成28年5月25日（水） 18時30分～20時00分			
開催場所	大山田公民館			
出席議員	班長	伊藤 研司		
	司会	辻内 裕也	記録者	満仲 正次
	倉田 明子	小川 満美	竹石 正徳	
参加人数	13人			
議会報告の概要	1. 開会 2. 挨拶・自己紹介 3. 報告・説明 (1) 12月定例会の報告 (2) 1月臨時会の報告 (3) 3月定例会の報告 4. 質疑及び意見交換 5. 閉会			
主な意見・要望	【質問事項】 1. 行財政改革について 2. 病院整備工事について 3. 北勢線・養老線について 4. 桑名駅自由通路・橋上駅舎について 5. その他 （別紙の通り）			
備考				

## 議 会 報 告 会 記 録

### 【第 1 班】

開 催 日 時	平成 2 8 年 5 月 2 5 日 ( 水 ) 1 8 時 3 0 分 ~ 2 0 時 0 0 分	
開 催 場 所	大山田公民館	
参 加 人 数	1 3 人	
議会報告に対する 質疑応答	質 問	回 答
	<p>平成 2 8 年度一般会計予算より、5 年前と比較すると、歳入で 7 億円減、歳出は 6 4 億円増となっているが、財政再建の努力はされてきたのか、結果が現れていないので説明して欲しい。</p> <p>病院整備工事について、工費が大幅に増額になっているのと、施工業者の選定については、充分検討されたのかお聞きしたい。また、市外業者では、税金が市に還元されないではないか。地元業者に発注できなかったのかお聞きしたい。</p>	<p>歳入は平成 2 6 年から 3 1 年までに、1 3 億円減の予測がされる。これは、団塊の世代が後期高齢者になり、市税が減収になるのと、国からの交付金も減額になっていくためであり、歳出については、扶助費が毎年度増額となり財政を圧迫することになる。法人税については、平成 2 8 年度は前年度より 3 ~ 4 億円増額の見込みである。</p> <p>平成 2 7 年 6 月契約前に 2 4 億 8 千万円、平成 2 8 年 2 月、医療施設、器具の見直しにより 2 6 億円の増額になりました。この件については病院側から全員協議会で説明があり、議会でも承認されました。施工業者の選定については、有資格者による一般競争入札で実施されましたが、予定価格を上回ったので最低価格を入れた業者と見直しを行ない契約した。また、工事費等について外部の有識者による評価委員会で検証しており、増額予算の妥当性については、職員の判断を信用している。</p>

	質 問	回 答
議会報告に対する 質疑応答	桑名市は平成24年に市長が代わったが、行財政改革が進んでいない。市債は毎年度アップしており、平成28年度の起債は82億円となっており、経常収支比率は三重県で一番わるい。議会はどう考えているのか答弁願います。	個人としての見解ですが、桑名市は財政危機宣言を出すべきであり、病院整備、駅西區画整理事業等の大型事業以外は白紙に戻すべきと考える。念のためこれは、今日出席議員の総意ではありません。
	北勢線、養老線への高額な補助金の必要性について説明願います。	北勢線については、バスでの代替え輸送は道路事情があり現状では難しく、養老線については、岐阜県側の必要性が高いが、桑名市としても反対できない。
	桑名市は現在大きな市債残高がある状態で、150億円程かかるといわれる桑名駅の自由通路、橋上駅舎という大型工事を今やる必要があるのか、議論されたのか教えて欲しい。	議論はされたが、最終的に多数決で決まった。150億円には上空通路が入っており、自由通路と橋上駅舎では、現在のところ当局からの説明では60～70億円程かかるといわれる。また、鉄道事業者は負担しないことになっている。
	駅西再開発は中止できないのか、また、いつ完成するのか。	仮換地済みでありいまさら中止はできない。また、完成時期は未定である。
	大山田東小校舎増築について。陽だまりの丘の児童が通学するためと思うが、諸々の問題点について検討されているか。	児童数の推計、通学路、用地等について、当局からは充分検討していると聞いている
	桑名市と同規模の人口である、西尾市(約16万人)との比較で、当市は行政窓口が多いし、職員数も多いと思われるが、議会でこの問題は議論されているか。	公共施設マネジメントがスタートしており、行政改革の中で検討されている。総合庁舎2カ所、各地区市民センター等の役割、機能についても議論されている。